

# いぬなし青葉

令和5年5月15日

第5号

校長 山下英樹

5月6日から20日までを「立夏」といい、風がさわやかでとても過ごしやすい季節です。新緑も美しく、日々その色が濃くなっていく時期です。また、「夏が立つ」と書くように夏の兆し(きざし:物事が起ころうとする気配)が見え始める頃でもあります。日によっては、兆しどころか夏本番のような日もあります。今週の後半には予想最高気温が25度を超える日、つまり「夏日」になる日があるとの予報が出ています。まだまだ身体が暑さに慣れていないので、熱中症には十分気をつけてください。

4月以降、学校でのマスクの着用は個人の判断にまかされていますが、運動時や暑い日に屋外で活動するときは、熱中症になるリスクが高くなるので、マスクを外すようにしましょう。



## ● 第1回コミュニティスクール運営協議会

5月9日(火)に令和5年度第1回コミュニティスクール(以下CS)運営協議会を行いました。四日市市のCSは、「保護者及び地域住民等が一定の責任を持って学校運営への参画を行い、学校教育活動の充実に向け、学校、保護者及び地域住民等が協働し、『学校づくりビジョン』の実現を図る」ことを目的としています。

今年度のCS委員さんを紹介します。学校の応援団の方々です。

|   |                 |   |                   |
|---|-----------------|---|-------------------|
| 様 | 海蔵地区連合自治会長      | 様 | 大谷台地区連合自治会長       |
| 様 | 海蔵地区青少年育成協議会顧問  | 様 | 大谷台地区青少年育成補導委員会会長 |
| 様 | 海蔵地区セティネット協議会会長 | 様 | 大矢知地区主任児童委員       |
| 様 | 海蔵地区まちづくり協議会委員  | 様 | PTAおやじの会代表 CS委員長  |
| 様 | 海蔵地区青少年相談員      | 様 | 令和5年度山手中学校PTA会長   |

委嘱状をお渡しした後、校内を見て回っていただきました。生徒のみなさんが授業に集中している様子や、タブレットをごくごく普通に使用している様子を見て、感心されていました。参観後の会議では、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用状況についての質問があったり、地域として子どもたちの居場所づくりをどのように進めていくと良いかなど、建設的な意見がいくつも出されました。給食についても話題となり、HPの生徒のみなさんの笑顔や空の食缶の写真が印象的との意見もいただきました。ありがとうございました。



CS委員のみなさんをはじめ、地域の多くの方々、生徒のみなさんのことを見守って下さっていることを改めて感じる事ができた会議でした。

### 【生徒の活躍紹介】

3月24日(金)に、IBTF世界バトントワーリング選手権大会日本代表選考会が行われ、2年生の[ ]さんが出場しました。[ ]さんはこの大会の、スリーバトン 女子ユース部門で6位に入賞し、IBTF世界バトントワーリング選手権大会、つまり日本代表として世界大会に出場することが決まりました。大会は8月9日からイングランドのリバプールで行われます。世界の39か国から各国の代表が集まる大会だそうです。

今まで積み上げてきた成果を十分出せるよう、良い準備を進めていってください。

## ● 曾爾（そに）高原で、素敵な体験ができました

1年生は5月11日、12日の2日間、自然教室に行ってきました。例年、自然教室は鈴鹿青少年センターで行っていますが、今年はいリニューアル工事で借りることができなかったため、奈良県にある国立曾爾青少年センターで行いました。曾爾高原にある青少年センターは標高700m地点にあり、豊かな自然に囲まれた素晴らしい環境にあります。そんな中で、普段味わうことができない、素敵な体験をすることができました。

センター到着後、大自然を感じながらお弁当を食べ、その後、班で協力しながらフォトテレーリングに取り組みました。かなりの高低差がある中でのオリエンテーリングでしたが、班の仲間と協力しながら楽しく過ごすことができました。素敵な笑顔がたくさん見られました。夜の活動は「KAPLA（カプラ）」を使った創作活動。クラスの仲間と知恵を出し合い、相談しながら、個性あふれる素敵な作品を作りました。せっかく高く積み上げた作品も少しのことで崩れてしまうこともありましたが、気を取り直して再チャレンジ。これも素敵な体験です。2日目の活動はカレーライスづくり。ほとんどの人が初めての火おこし。苦労しましたが、杉の葉をうまく使い、着火に成功。調理係とうまく連携しながら、カレーを作りました、自然の中で仲間と協力して作ったカレー。美味しくないわけがありません。食べているみなさんの顔は、とても素敵な笑顔でした。



2日間とも快晴で風がとてもさわやかで、まさに「最高の天気」でした。自然豊かな曾爾高原、そして青少年センターは「最高の環境」でした。実行委員会で考えた自然教室のスローガンは「最幸（さいこう）の仲間」でした。1年生のみなさんは、自然教室の2日間で「最幸の仲間」になれるスタートラインに立ちました。これから学校生活の様々な活動を通して、本当の「最幸の仲間」になっていきましょう。そのために自分にできることを丁寧にやっていきましょう。



【保護者のみなさまへ】HPに活動の様子をアップしました。お時間があればお子様と一緒にご覧ください。

【ご協力をお願いします】 福祉委員会が中心となり、ペットボトルのキャップの収集を行っています。ペットボトルのキャップは約2kgでポリオワクチン1人分相当の20円に換金されます。令和3年度は約62kg、昨年度は約55kgのキャップが集まり、収集業者さんを通じ、NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」に送りました。今年度もこの取組を行いますので、ペットボトルのキャップの収集にご協力をお願いします。（汚れているキャップは収集できませんので、必ず洗い、乾かしてから持ってくるよう、お願いします。）今年度の第1回目の収集日は6月8日、9日を予定していますが、年間を通して集めますので、ご協力をお願いします。

【うれしい報告】先日、海蔵小学校の校長先生から、「朝の登校の見守りのため、運動場東側の横断歩道のところに立っていたところ、多くの中学生があいさつをしてくれたり、横断する小学生に道を譲ってくれたりする姿を見かけました。とてもうれしかったです」と連絡をいただきました。CS委員さんも「中学生がよくあいさつをしてくれる」とおっしゃっていました。あいさつが多くの人を笑顔にしますね。続けていきましょう。